

教育心理学

- 開講日
- ・ 12/20 18:00～21:00 第一回
 - ・ 12/27 18:00～21:00 第二回

講師：三浦志織

今回学ぶ教育心理学

<第1章 教育心理学とは>

- ・ 教育心理学の4領域 pp.1
- ・ 教師・保育者と子供の関係：ピグマリオン効果 pp.2

<第2章 子どもの発達>

- ・ 遺伝と環境 pp.13
- ・ 子どもの発達の特徴 pp.19

今回学ぶ教育心理学

<第5章 どのように教えるか -学習指導->

- ・ 発見学習 pp81
- ・ 有意味受容学習 pp82

<第8章 発達とところの問題への対応>

- ・ 知的障害を知る pp114
- ・ 発達障害を知る pp118

教育心理学とは

<目的>

科学的に証明された方法を用いて、効果的に教育を進めていくこと

教育心理とは

人間の発達

学習

パーソナリティ

教育評価

教育心理学とは

<パーソナリティ分類>

- 名前：三浦
- 家族：夫と娘と猫2匹
- 趣味：アニメ鑑賞
- 苦手：掃除，整理整頓

→わたしはどんな人だと思いますか？

Jamais Jamais

AAB 型

自分の説明書



教育心理学とは ＜パーソナリティ分類＞

- クレッチマーの体格気質類型論

- ・ 濃厚な性格
- ・ 明るく社交的
- ・ ユーモアがある
- ・ 急に落ち込む場合も



肥満型
(粘着気質)

- ・ 真面目な性格
- ・ 木の幹かで控えめ
- ・ 神経質で非社交的
- ・ 他人には無頓着



細長型
(分離気質)

- ・ 正義感が強い
- ・ 几帳面でねばり強い
- ・ 熱中しやすい
- ・ 興奮しやすい



闘士型
(粘着気質)

教育心理学とは ＜パーソナリティ分類＞

- シェルドンの類型論

表 2 シェルドンの発生的類型論

| 体型 | 気質 | 性格 |
|---------------|-------|-----------------------------|
| 外胚葉型 (細身型) | 神経緊張型 | 社交的ではなく、心配性。動きが固く、焦りを感じやすい。 |
| 内胚葉型 (肥満型) | 内蔵緊張型 | 社交的でリラックスしており、自分や生活に満足している。 |
| 中胚葉型 (闘士型) | 身体緊張型 | エネルギーで大胆。競争心が高く、自己主張が強い。 |

教育心理学とは
＜パーソナリティ分類＞



教育心理学とは ＜教師・保育者と子供の関係＞

ピグマリオン効果

「教師や保護者など他者からの期待を受けることで学習成績が向上する心理効果」

教育心理学とは ＜教師・保育者と子供の関係＞



わーい、みんなと変わらないのに成績uPだ！！



<第2章 子どもの発達> 遺伝と環境

- 遺伝？それとも環境？それともどちらも？考えてみよう。（身長，病気，精神病，職業，足の速さ，性格）

1) 遺伝

2) 環境

<第2章 子どもの発達> 遺伝と環境



「私に1ダース（十二人）の健全な赤ん坊と彼らを育て上げるための特殊な世界を与えてくれるならば、私はランダムにその中の一人を取り上げ、彼らをその才能、特性、性癖、能力、適正、祖先の家系のいかに関わらず、私が選んだ専門家、医者でも弁護士でも、芸術家でも、教師でも、軍人でも、あるいはお望みなら乞食にでも育ててみせよう。」

ヴェクトール・E・ブランダール

夜と霧

新 版

堀田真由子訳



みすず書房

<第2章 子どもの発達> 子どもの発達の特徴

0～2ヶ月



3～5ヶ月



6～8ヶ月



9～11ヶ月



12～14ヶ月



<第2章 子どもの発達>

子どもの発達の特徴

- ヴィゴツキー：発達の最近接領域

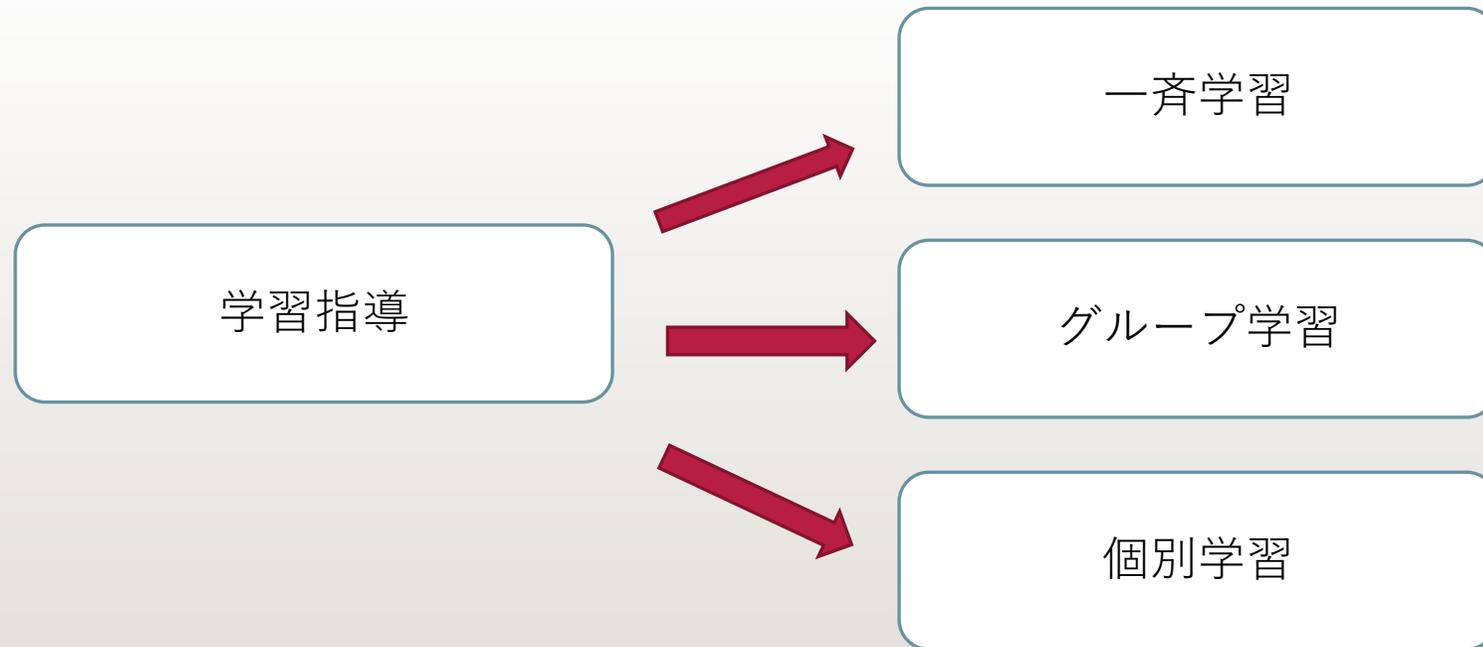
自分で解決できる水準
(今日の水準)

自力では解決できないが手助けがあれば解決できる水準
(明日の水準)

精神発達の水準

→周囲が手助けすることによって、今日の水準へ変化する。
(できなかったことができるようになる。)

<第5章 どのように教えるか -学習指導-> 学習指導の形態



<第5章 どのように教えるか -学習指導-> 発見学習

発見学習とは

「教師が一方的に教えるのではなく、学習者自身が答えや法則を見つけ出す学習方法」

<第5章 どのように教えるか -学習指導-> 発見学習

- 発見学習の基本過程

- ①問題の把握と考察

→学習者が問題意識をもって、具体的事実を観察。

- ②仮説の設定

→学習者は観察に基づいて仮説を設定。

- ③仮説の検証

→主観的な仮説から、一般化（客観的）へ導く。

- ④発展とまとめ

→仮説の設定，検証で得られた事実をまとめ，結論へ導くさらに結論から現実場面において応用できるようにする。

<第5章 どのように教えるか -学習指導-> 発見学習

- 生理学者 **パブロフ**



なぜ足音だけで
よだれを垂らす？



この音は...餌がもらえる！

<第5章 どのように教えるか -学習指導-> 有意味受容学習

有意味受容学習

「教師が学習者に学習内容を説明し、学習者はそれを受動的に学ぶ。」

<第5章 どのように教えるか -学習指導-> 有意味受容学習

- 有意味受容学習の特徴

①多くの情報を短期間で学ぶことができる。

②学習者の認知構造にある既存の知識と関連付けながら学習し、新たな知識を意味あるものとして受容していく。





本国への抗議

アメリカ独立革命

合衆国憲法

連邦主義



中央政
力が強
三権分

初代大統領

フランス革命への影

伐り込による植民地政策

重商主義政策

ピルグリムファーザーズ
メイフラワー号



13植民地

7年戦争

1765
印紙法

茶法

北部

南部

伐り込

フランス

<第5章 どのように教えるか -学習指導-> 適正処遇相互作用

適正処遇相互作用とは

「学習の成果は、学習者の学習課題や学習活動に対して持っている特性・適正と、学習者に施された教授方法の相互作用の結果」

<第5章 どのように教えるか -学習指導->

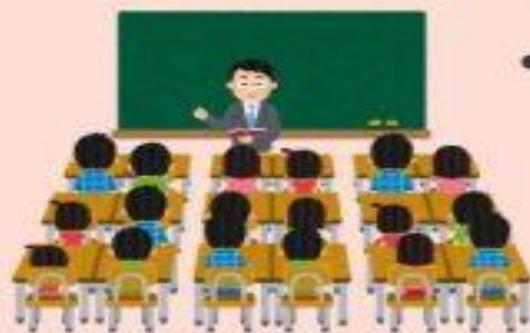
特別支援学級って知っていますか？

- どんな場所？
- どこにある？
- 何をしている？
- どんな子どもが利用する？

小学校・中学校 発達障害のある児童生徒のための特別支援

通常級

- 「普通級」「一般級」と呼ばれることも
- 標準人数は40名 ※小1のみ35名
- カリキュラムに合わせた授業進度



通級

通常の学級に在籍しながら、その子の障害特性に合った個別の指導を受けるための教室。週に何時間か通う。在籍校に通級指導教室がない場合は近隣校の「他校通級」を利用する。



特別支援級

- 「支援級」「なかよし学級」呼び方は様々
- 標準人数は8名
- 「個別の指導計画」に基づいた支援、指導を受ける



交流級

特別支援級に在籍しながら、ホームルームや給食の時間に通常級に移動して活動する。特別活動に限らず、得意な科目や音楽や体育などの授業も、相談の上交流級で受けることができる。



学級選択の際に抑えておいていただきたいポイントは以下の通りです。

▼学級は就学時健診の結果を踏まえ相談の上決まりますが、入学後の発達・適応状況に合わせて移籍することも可能です。

▼所属学級に優劣はありません。お子さんの成育によりプラスになる環境を選択するようにしましょう。



<第8章 発達とこころの問題への対応> 知的障害を知る



<第8章 発達とこころの問題への対応> 知的障害を知る

知的障害とは

「同年齢者と比較して、知的機能の発達の遅れと適応行動の乏しさがあり、日常生活でさまざまな不自由が生じること。
(おおむね18歳未満)」

| 生活能力 IQ | a | b | c | d |
|----------------|---------|---|---|---|
| I (IQ ~20) | 最重度知的障害 | | | |
| II (IQ 21~35) | 重度知的障害 | | | |
| III (IQ 36~50) | 中度知的障害 | | | |
| IV (IQ 51~70) | 軽度知的障害 | | | |

<第8章 発達とこころの問題への対応>

知的障害を知る

- 知的障害者の特徴

- ①学習上の特性

- 学習によって得た知識を応用することの難しさ

- 成功体験が少ないことにより，主体的な活動の困難さ

- 抽象的概念より，具体的内容の指導が効果的

- ②心理的，行動的特徴

- 年齢に比して幼く，自己中心的なところがある

- 情緒の抑制ができにくく，些細なことで感情的になる

- 言葉の理解力が遅れがち

- 身辺処理が遅れがち

< 第8章 発達とこころの問題への対応 > 発達障害を知る

発達障害とは

「知的（発達）障害，脳性麻痺などの生得的運動発達障害（身体障害），自閉症，アスペルガー症候群を含む広汎性発達障害，注意欠如多動性障害（多動障害），およびその関連障害，学習障害，発達性協調運動障害，発達性言語障害，てんかんなどを主体とし，視覚障害，聴覚障害および種々の健康障害（慢性疾患）の発達期に生じる諸問題の一部をふくむ」

A Venn diagram consisting of three overlapping circles. The top-left circle is orange and labeled 'ASD (自閉スペクトラム症)'. The top-right circle is teal and labeled 'ADHD (注意欠如・多動症)'. The bottom circle is purple and labeled 'LD (学習障害)'. The overlapping areas between two circles are shaded with a darker color, and the central area where all three overlap is a dark greyish-purple.

ASD
(自閉スペクトラム症)

ADHD
(注意欠如・多動症)

LD
(学習障害)

< 第8章 発達とこころの問題への対応 > 発達障害を知る

注意欠如多動障害 (ADHD)

「年齢あるいは、発達に不釣り合いな注意力、または衝動性、多動性を特徴とする行動障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすもの。またこれらの症状が12歳以前に現れ、その状態が継続し、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される」

< 第8章 発達とこころの問題への対応 > 発達障害を知る

・ 注意欠如多動障害 (ADHD)の特徴

①不注意症状

- ・ 話しかけられてもしばしば聞いていないようにみえる
- ・ 外からの刺激によって気が散りやすい
- ・ 日々の活動を怠ける
- ・ 課題や活動を順序立てることがしばしば困難 など

②多動性・衝動性症状

- ・ じっとしていることができない
- ・ 授業中（または活動中）に席からはなれる
- ・ 落ち着かない
- ・ 動きが多い
- ・ 突発的な言葉や発言が多い など

→不注意優勢（のび太タイプ）、②多動・衝動性優勢（ジャイアン）、①②混合の3パターン

ドラえもん



毎週金曜日
よる7:00

©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・サンエイ・AIC



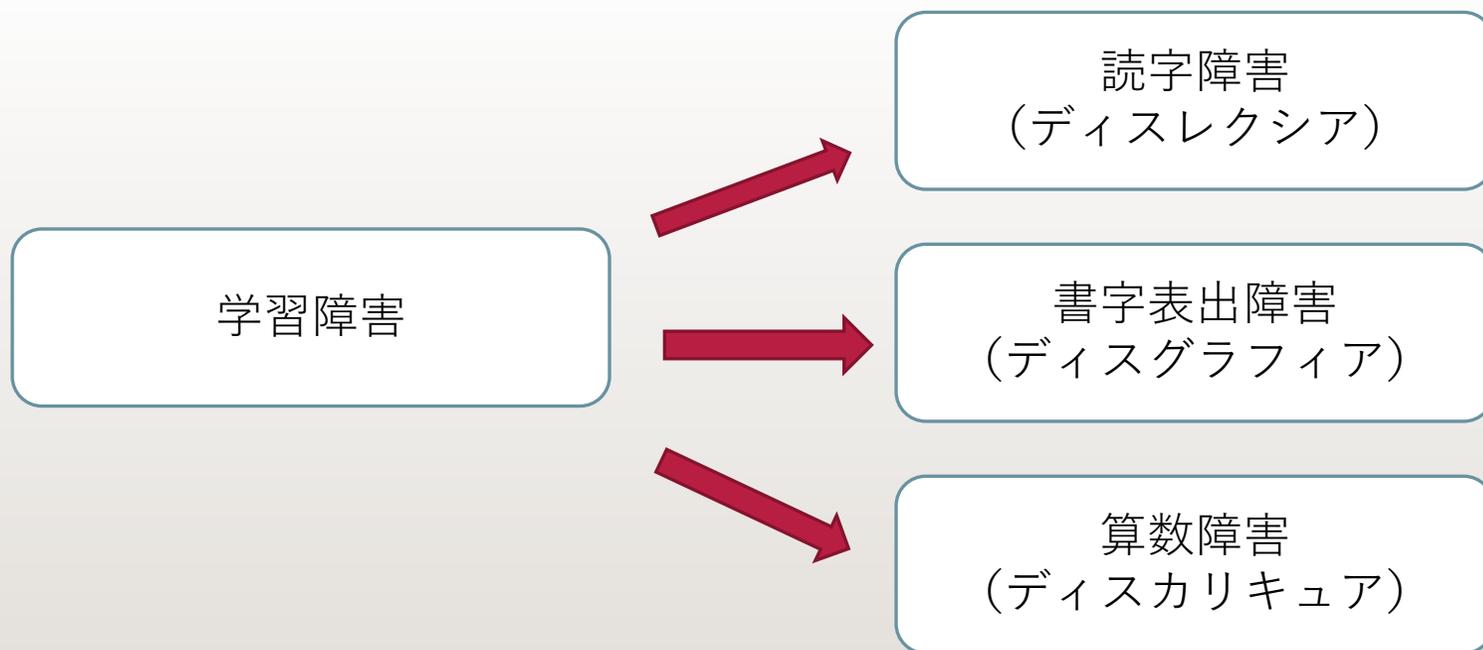


< 第8章 発達とこころの問題への対応 > 発達障害を知る

学習障害 (LD)

「基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する、または推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである。学習障害は、その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されるが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害などの障害や、環境要因が直接原因となるものではない」

< 第8章 発達とこころの問題への対応 > 発達障害を知る





<第8章 発達とこころの問題への対応> 発達障害を知る

自閉症スペクトラム (ASD)

「正常な対人関係を構築することが難しく、言葉の使い方に異常が見られるか、まったく言葉を使おうとせず、限定的な行動または反復行動がみられる」

< 第8章 発達とこころの問題への対応 > 発達障害を知る

自閉症スペクトラム症 (ASD) の特徴

①社会的コミュニケーション・対人的相互反応の障害

- ・人の気持ちを理解することが苦手
- ・他人への関心が乏しい
- ・集団行動が苦手
- ・会話が成り立ちにくい
- ・人の表情や場の空気を読むことができない

< 第8章 発達とこころの問題への対応 > 発達障害を知る

自閉症スペクトラム症 (ASD) の特徴

② 限定された半服的な行動・興味・活動

- ・ おもちゃを並べる
- ・ タイヤや扇風機など回転するものが好き
- ・ 一人遊びに没頭する
- ・ 切り替えが苦手
- ・ 道順や風呂，食事などの順番が決まったパターンと違うと痙攣を起こす

< 第8章 発達とこころの問題への対応 > 発達障害を知る

発達障害の特性

失敗経験



- ・精神疾患
- ・うつ病
- ・自己肯定感低下
- ・不登校，引きこもり

適切な支援



- ・特性を生かした職業，進路選択

<第8章 発達とこころの問題への対応> 発達障害を知る

- 保育者にできること

①発達障害は早期発見が大切

→発達障害の特性は子どもの成功体験を奪い、自己肯定感を低下させる

→適切な支援（療育や専門の病院、市の相談窓口）へ繋げることによって、その子の個性を伸ばすことにつながる

②報告、連絡、対応の相談

→保育者だけで抱え込まず、まずは周り、そして専門家に相談

→必要に応じて上司と一緒に保護者へ伝え、専門の病院へ行ってもらう

ONLY ON |  U-NEXT

Temple Grandin

テンブル・グランディン

自閉症とともに

HBO

<第8章 発達とこころの問題への対応> 発達障害を知る



「世の中には色々なタイプの脳が必要だ」

「定型発達ばかりであれば、人間は
いまだに原始的な生活を送っているだろう」